

保険業におけるその他の仮設物、建築物、構築物等を起因物とする死傷災害発生事例（2017年）

2017年発生月	時間	死傷災害発生事例	年齢	労働者規模
1	18～19	約束の時間にお客様宅を退出する際の事故である。玄関先のスロープを下りていたところ、辺りが暗かった為足元が凍っていることに気がつかず、滑って尻餅をつき背中を地面で打った。その際、肋骨骨折、腰の痛み、臀部と腰に負傷を負い、救急搬送された。	50～29	10
5	13～14	道を間違え、行き過ぎた際に急にUターンしたところ、左後方にあった電柱に気付かず、首を強打したものである。	47～999	500
7	10～11	外出途上で駅付近を急いで歩いていたところ、雨で濡れた路肩で滑って転倒し、左肩・左肘・両手首を強打し左方上腕骨近位端亀裂骨折、左肘・両手首打撲傷等を負った。	37～299	100
12	17～18	店内にある代理店へ訪問し、駐車場へ戻った時、車止めにつまずき転倒した。	56	1～9
12	8～9	出勤時、営業所入口ドア前の段差に躓き、転倒した。	57～999	500

出典：[https://anzeninfo.mhlw.go.jp/anzen\\_pgm/SHISYO\\_FND.aspx](https://anzeninfo.mhlw.go.jp/anzen_pgm/SHISYO_FND.aspx)(職場のあんぜんサイト)

Return to：[https://www.jisha.or.jp/international/topics/202206\\_11.html](https://www.jisha.or.jp/international/topics/202206_11.html)